

県立学校における働き方改革推進プラン（令和7～10年度）ロードマップ

※単なる数値の達成ではなく、子どもと向き合う時間を増やし、教育の質を高めることで、学びの変革、学校のあり方の変化を実現し、子どもと教職員のウェルビーイングの向上を目指すもの

「次なる一手」の検討

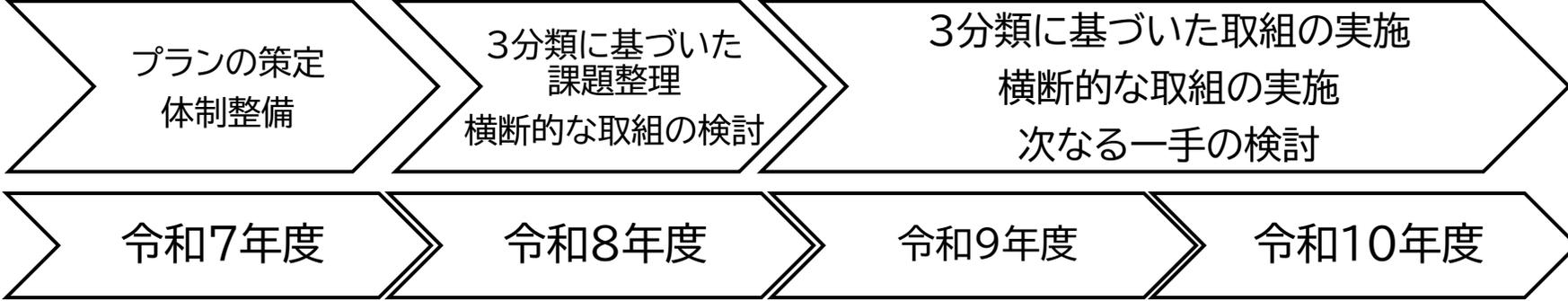
好事例の横展開による「成果の拡大」

保護者・学校・地域・県教委が一体となった取組の強化「確立」

「※とやまの学校における働き方改革がめざすもの」の周知「意識改革」「理解促進」

「学校と教師の業務の3分類」に基づく業務の精査・切り出し、学校業務の適正化「見える化」「基盤づくり」

学校現場の変化
県教委



- ### 達成目標
- ◎ 時間外在校等時間が月45時間を超える教職員をゼロにする。
 - ◎ 年間の平均時間外在校等時間を令和6年度比で25%以上削減する。
(※参考 高9.7h 以上 特6.2h 以上)
 - ◎ 仕事と家族、自分の時間のバランスがとれていると感じる教職員の割合を80%以上にする。
 - ◎ よりよい教育の実現のために、授業の準備や自己研鑽をする時間を確保できていると感じる教職員の割合を80%以上にする